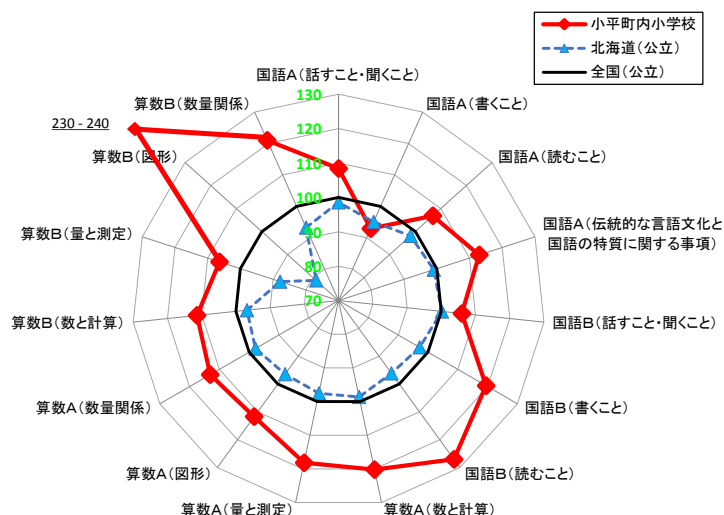


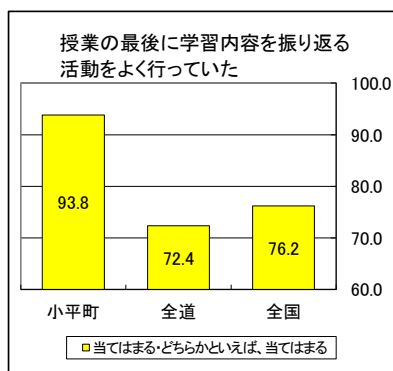
■小平町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:16人)

【教科全体の状況】

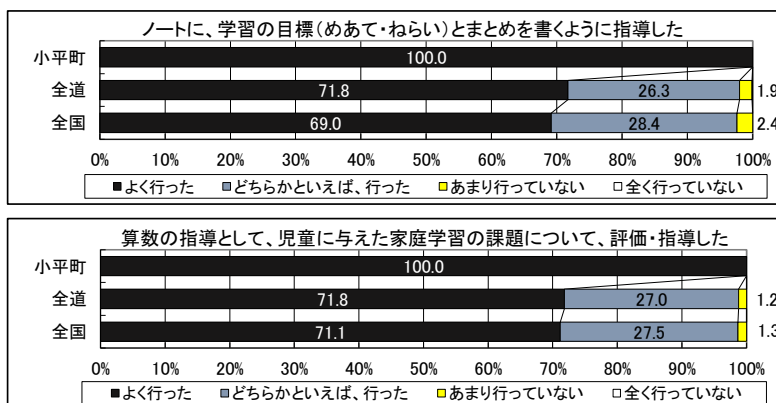
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、すべての領域で全国を上回っている。 ○ 算数A・Bでは、すべての領域で全国を上回っている。	○ すべての学校で、ノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書く指導を充実したことにより、授業の最後に学習内容を振り返る児童の割合が全国を上回り、学力の向上につながったと考えられる。
児童質問紙	○ 「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ すべての学校で、算数の指導として、児童に与えた家庭学習の課題について、評価・指導したことにより、算数のすべての領域で、全国を上回る成果につながったと考えられる。
学校質問紙	○ 「ノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導した」「算数の指導として、児童に与えた家庭学習の課題について、評価・指導した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

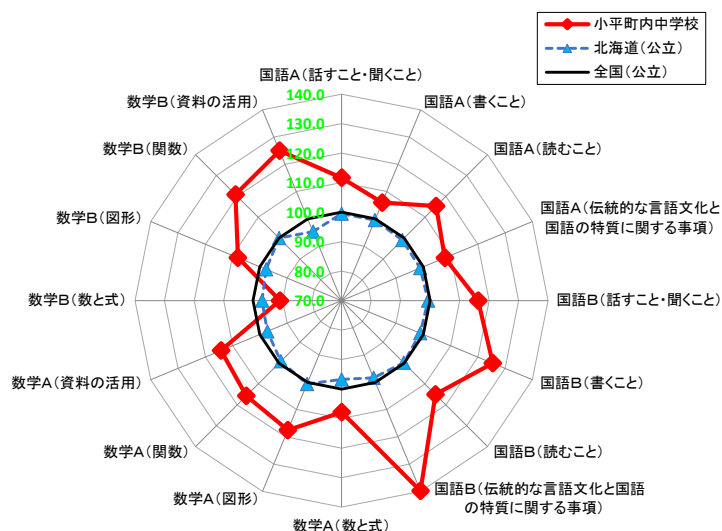
【小平町の学力向上策】

- ◎ 小小連携、小中連携による9年間の連続性のある指導カリキュラムの構築
- ◎ 朝学習や長期休業中における学習会の実施
- ◎ 家庭との連携による学習習慣の確立に向けた取組の推進
- ◎ 学校での朝読書活動、家庭での読書習慣の定着化の取組の推進

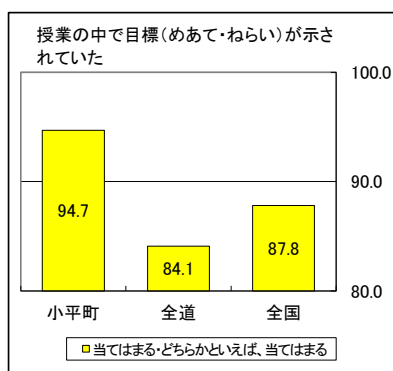
■小平町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:19人)

【教科全体の状況】

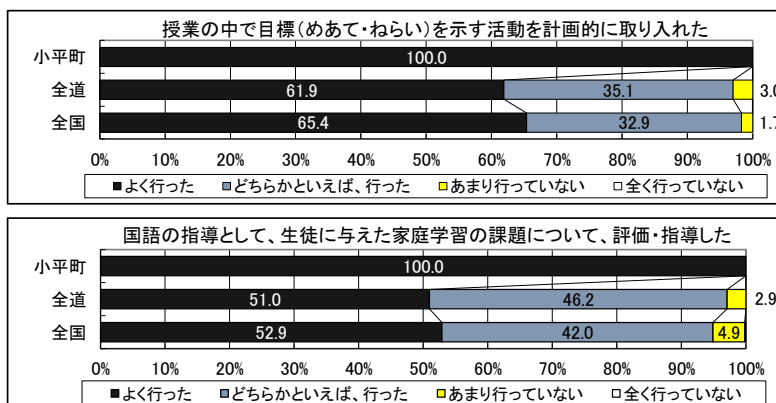
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語A・Bでは、すべての領域で全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、すべての領域、Bでは、「図形」「関数」「資料の活用」で全国を上回っている。	○ 授業の中で目標(めあて・ねらい)を生徒に示す活動の充実を図ったことにより、目標を意識して学習を進める生徒の割合が全国を上回り、学力の向上につながったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 国語の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導したことにより、国語のすべての領域で、全国を上回る成果につながったと考えられる。
学校質問紙	○ 授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた。 ○ 国語の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導をよく行った。	

【小平町の学力向上策】

- ◎ 小小連携、小中連携による9年間の連続性のある指導カリキュラムの構築
- ◎ 朝学習や長期休業中における学習会の実施
- ◎ 家庭との連携による学習習慣の確立に向けた取組の推進
- ◎ 学校での朝読書活動、家庭での読書習慣の定着化の取組の推進